

2-④ 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに学習意欲を高める

取組 8-2	基礎的・基本的な知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成（高等学校）
--------	------------------------------------

【担当所属：高校教育課】

1 現状

高校においては、全日制、定時制、通信制のすべての課程において、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育み、確かな学力の育成を推進しています。

(1) 高校における各教科・科目等の指導に当たっては、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視し、評価計画を含めた年間指導計画及びシラバス（授業計画・概要）を作成し、指導と評価の一体化を図った教育を推進しています。

また、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自ら学び、自ら考える力を育成する観点から、問題を探究的に解決する活動を積極的に取り入れることや、生徒が主体的に学習に取り組めるように、思考力・判断力・表現力等を育成する学習活動を推進しています。

(2) 各学校に、授業改善推進委員会を設置し、授業改善推進計画を作成して、教員相互の授業研究等の充実と職員研修の推進、授業中の生徒指導の充実と授業評価の推進、保護者等への授業公開や校長が直接授業を見て指導・助言を行うことで、授業改善の推進に取り組んでいます。

また、これからの学校教育の在り方についての認識を深め、諸課題に適切に対応していけるよう、校内研修の一層の充実を図ったり、県総合教育センターにおける研修講座等を活用しています。

(3) 高校教育における質の保証を図るために、学び直しの時間の設定や、生徒一人ひとりに応じた指導の充実等、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るための指導を推進しています。また、思考力・判断力・表現力等を育成するために、グループやペアによる協同学習を推進し、知識基盤社会を生き抜くためのコミュニケーション能力や課題解決能力等の育成を目指しています。



共に学び合う協同学習の様子

(4) 生徒が自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、各教科・科目や総合的な学習の時間及び特別活動等の学校の教育活動全体を通じて、計画的、組織的なキャリア教育・進路指導を推進しています。

2 課題

(1) 高校生としての基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせること

(2) 生徒の学習意欲を伸張し、学習習慣の定着を図るために、授業における問題解決的な学習や体験的な学習を推進するとともに、思考力・判断力・表現力等を育成するため協同型、双方向型の授業改善を進めること

3 取組の方向

- (1) 各教科において基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視するとともに、観察・実験、レポートの作成、論述等、知識・技能の活用を図る学習活動を充実していきます。
- (2) 主体的に学習に取り組む態度を養う上で、生徒の発達段階を考慮した、思考力・判断力・表現力等を育成する学習活動を充実していきます。
- (3) すべての県立高校において、生徒一人ひとりの学習状況や授業の理解度を把握するなど、個に応じたきめ細かな指導や、生徒一人ひとりの学習状況等を適切に把握して、指導の改善に生かすための観点別学習状況の評価を推進します。
- (4) キャリア教育を念頭においた教育課程を編成し、生徒が学習意欲を高め、主体的に進路選択ができる態度を育成します。

4 主な取組内容

- (1) 「毎時間の授業で伸ばしたい生徒の資質・能力」を明確にし、そのための適切な学習活動を設定します。
- (2) グループ学習やペア学習等を活用した思考力・判断力・表現力等の育成や指導と評価の一体化等を目指した授業改善を推進します。
- (3) 学習内容の確実な習得や学習意欲の伸長、学習習慣の定着を目指して、学び直し学習や協同学習についての研究を行います。
- (4) 生徒の学習内容の習熟の程度等に応じて、少人数指導や習熟度別学級編成を活用するなど、生徒一人ひとりに応じた指導を推進します。
- (5) 学ぶことの意義を実感できるように、各教科・科目等とも連携し、学校の教育活動全体を通じたキャリア教育を推進します。
- (6) 各校における取組についての情報交換やキャリア教育及び進路指導実施上の当面する諸課題について研究協議を行い、各校におけるキャリア教育・進路指導を推進します。
- (7) 進学指導に活用できる資料を作成し、各高校における進学指導を推進します。
- (8) 学校や生徒の実態に応じて、土曜日における教育活動の活用方法を検討します。

5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 学習内容の確実な定着を図るための学び直しや思考力・判断力・表現力等を育成する協同学習を重点的に行う推進校の数	4校	10校
(2) 公立高校における進路希望達成率 (進路希望達成者/卒業生)	90.8%(H24)	95%

《コラム》

「確かな学力」とは

以前は基礎的・基本的な知識・技能の育成と自ら学び自ら考える力の育成は別のものと考えられていましたが、この両面を総合的に育むことが必要とされ、これらが「確かな学力」と定義付けられました。学校の教育活動の中では、各教科の基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるとともに、それらの知識・技能を日常生活の中で活用する力の育成を図っています。